

第2回家政科集会を実施しました

例年、2回目の家政科集会は3年生の「進路体験発表会」を行っています。
今年度は、12月11日（水）7校時に実施しました。

最初に、進路指導主事の松田先生から、「大学・専門学校等入学者の約3割が、進路選択に後悔があると答えている」というお話がありました。自身の進路志望についてしっかりと考えるためにも、オープンキャンパスや進学相談会へ参加し、進路先を比較検討することの大切さを教えていただきました。



続いて、「栄養系4年制大学」「保育系短期大学」「看護系4年制大学」「看護学校」「情報系短期大学」に合格した3年生の体験発表を行いました。志望校に合格した5名は、「検定に真剣に取り組み、三冠王を取得すること」「体調管理に努め、欠席しないこと」「ボランティア活動に積極的に参加すること」「『両道不岐』の実現を目指して勉強と部活動の両立を図ること」「自分がやってきたことに自信をもって話すこと」が大切だと述べていました。



1・2年生はメモを取りながら真剣に聞き入っていました。また、質疑応答でも活発に情報交換がなされました。



[生徒の感想]

- 私はまだ将来の夢も決まっておらず、行きたい大学も見つかっていません。学校説明会やオープンキャンパスにたくさん参加して視野を広げるといいと3年生がおっしゃっていたので、積極的にさまざまな分野の学校を見て、やりたいことを見つけていきたいと思いました。(2年生Tさん)
- 受験の内容は学校によって違うので、早めから国・数・英の基礎をしっかりと固めていきたいし、三冠王を取ることで面接でのアピールポイントが増えて有利になるので、今のうちから勉強と家政科での実習を頑張っていきたい。(2年生Fさん)
- 自己推薦できるような学力や資格を、3年生になるまでにたくさん身に付けようと思う。何事も経験することが自分自身を成長させるうえで一番大切なことだと感じた。(1年生Yさん)
- 私が目標としている看護の学校についてお話を伺うことができ、これからの進路について今までよりも視野が広がったと感じました。(1年生Aさん)



1・2年生にとっては、進路希望を実現させることのできた3年生のアドバイスを直接聞くことができ、自分の進路について考えるきっかけともなる大変貴重な機会となりました。先輩から後輩へ、さまざまな体験を伝えられるのも、家政科ならではの良さです。今後も学年を超えたつながりを大切にしながら、進路実現に向けてのサポートを丁寧に行っていきます。